

第 3 回 三鷹市障がい者地域自立支援協議会
地域課題の共有・協議について(発表シート)
(令和 7 年 10 月 30日)

発表者 部会長 南雲 潤

① 発表内容

部会名	当事者部会
テーマ	<p>以下の第三期三鷹市障がい者(児)計画の課題から、テーマを選択してください。</p> <p>1 障がいに対する理解の拡充</p> <p>2 安心して暮らせる地域づくり</p> <p>3 障がいのある人の自己決定の尊重と相談支援機能の強化</p> <p>4 生活支援と家族支援の充実</p> <p>5 就労を含めた社会参加の推進</p> <p>6 一人ひとりの状況に応じた切れ目のないサポートの提供</p>
具体的な 内容・事例	<p>【前期までの課題と今期の活動について】</p> <p>部会長が決まりました。 身体障がいの当事者 南雲 潤</p> <p>三鷹市障がい者自立支援協議会全体会（令和6年10月10日実施）にて委員、事務局にアンケートの回答をお願いしました。</p> <p>①当事者部会委員からの質問「あなたにとってヘルプマークとは？」アンケート集計結果</p> <p>最初の回答期限では、2件だったため、事務局より委員の皆様へメールにて改めて周知していただき、11件の回答をいただきました。</p> <p>②当事者部会委員が回答した「あなたにとってヘルプマークとは」の資料の感想 集計結果</p> <p>最初の回答期限では、0名の回答だったため、事務局より委員の皆様へメールにて改めて周知していただき、5名に回答をいただきました。</p>

	<p>【当事者部会としての取り組み】 部会は、同じテーマで 昼間の部と夜の部で実施。 対面と Zoom のハイブリット型で実施。</p> <p>・令和7年3月 テーマ「お金について」 盲導犬の費用についての話に驚きました。</p> <p>・令和7年9月 テーマ「震災について」 東日本大震災の時の聴覚障がい者の体験談が驚きました。</p> <p>当事者委員は、事業者の代表よりも個人参加が多いです。 また、協議会委員ではない当事者委員も多数参加しています。 精神、知的、身体（肢体、視覚、聴覚）、難病などの障がい当事者が参加しています。</p> <p>会議中は、参加者には、平等に意見や質問を出していただきたいと考え、司会、記録は協力団体職員が行っています。</p> <p>協力団体 障がい者自立支援センター ゆー・あい 障がい者地域活動支援センター まちかど 障がい者相談支援センター ぽっぷ</p>
協議会の場で行いたいこと	<p>以下より、協議会の場で行いたいことを選択してください。</p> <p><input type="checkbox"/>意見交換</p> <p><input type="checkbox"/>情報の共有</p> <p>・ 他事例の提供</p> <p><input type="checkbox"/>その他(当事者の話を聞く・質問する)</p>
協議の結果を受けた、今後の部会の予定	<p>未定</p>

<p>その他</p>	<p>【自立支援協議会(全体会)に希望する事】 当事者部会は、テーマを決めて 参加する当事者個人が行っていることや困りごと、疑問を話していただきます。部会内で出た困りごとについて部会内で解決案や対策案を考えるのではなく、情報を共有して、自立支援協議会(全体会)に投げかけて行こうと考えています。自立支援協議会(全体会)では当事者部会からの投げかけに様々な対応を検討していただきたいと思います。</p> <p>【当事者部会の成果】 当事者部会は、少人数でテーマについて自分の事を話す機会が多いのでイメージできて発言がしやすい。</p> <p>自分と異なる障がいを持つ人の話を聞くことで、困りごとでも共通する困りごとや異なる困りごとを知ることができ、発見や驚きが得られる。</p> <p>9月開催の部会では事務局が担当以外の職員が参加して当事者の話を直接聞いていただきました。 今後も Zoom と対面のハイブリットで開会を予定しております、事務局だけでなく自立支援協議会委員の皆様にも当事者の生の声を聴いていただきたいと思います。</p>